

◎ふくろい遠州の花火への今後の支援は

問 今後も「ふくろい遠州の花火」の開催に向け、継続支援するのか。

答 市民がより一層誇れる、安心安全な「我がまち自慢の花火大会」となるよう、引き続き支援する。

◎周南中学校にサブグラウンド設置を

問 グラウンドが狭く、複数の部活動で使用する時は危険である。現在整備を進めている(仮称)春岡多目的広場を、サブグラウンドとして使用できないか。

答 現在整備中のこの広場を、サブグラウンドとして使用できるよう、地元関係者と協議していく。

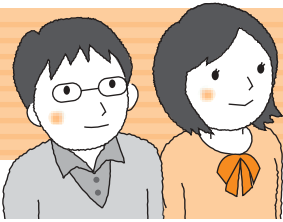
◎一人暮らしの老人等への熱中症の指導は

問 猛暑が続いているが、熱中症対策についてどのように指導しているのか。

答 昨年度から、保健師及び看護師が、一人暮らしで75歳以上の世帯への家庭訪問を実施し、健康状態を把握するとともに、熱中症予防策を個々に説明している。



手狭な周南中学校グラウンド



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎正規職員の削減は問題

問 正規職員の削減と非正規への振りかえは、市民サービスの低下、正規職員の業務過多、非正規職員の生活不安定を招いている。

「行政の効率化」を至上命題とした正規職員の削減でなく、「正規職員が当たり前」という考え方が必要ではないか。

答 限られた財政状況の中で、事務事業を効率的かつ効果的に遂行するために、組織や職員配置の見直しや民間委託の推進などをすすめ、正規・非正規にこだわらず、事務事業に見合うよう適切に職員を任用していく。

問 「職員はコストでなく財産」という考えが大切では

答 個々職員の生活を守ることも、市全体の財政バランスの両方を考慮していく。

◎利用しやすいメモロプラザに

問 浅羽会館が建てかえられメモロプラザになったら、「簡単に使えなくなった」という声を聞く。使用料やその減免に問題はないか。

答 使用料は、受益者負担の原則に基づき、他施設の使用料も考慮し設定している。また、利用件数のうち、約26%の件数で減免を行っている。



5月に開館したメモロプラザ